

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次	p1	トピックス：国連防災会議が開催されます
	p2	みやぎ“復興人”：cafeはまぐり堂、応援職員紹介
	p3	月間ココロプレス、県からのお知らせ
	p4	県からのお知らせ、復興イベント情報 ほか



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1 お名前、2 お住まいの都道府県、3 ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！



国連防災世界会議が開催されます

—平成27年3月14日から3月18日—

国連防災世界会議は、国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議であり、10年に一度開催されています。過去2回は、横浜と兵庫で開催され、今回は、平成27年3月14日（土曜日）から18日（水曜日）まで仙台で開催されます。

前回兵庫県で行われた会議では、災害による被害低減のため、国連加盟各国がとるべき防災戦略が議論され、平成27年までの10年間の取り組み指針である「兵庫行動枠組」が策定されました。今回は、それに続く枠組が議論されるとともに、東日本大震災の経験や教訓を世界に向けて発信する貴重な機会となります。

会議は、仙台国際センターと新設される隣接施設で行われ、各国の首脳や閣僚、認証NGOの代表を含む約5千人の参加が予定されています。また、期間中は、仙台市中心部や夢メッセみやぎなどで、一般の方を対象とした講演会や防災に関する展示会なども開催されます。関連事業を含めると全体で延べ4万人以上の参加が見込まれており、これまで東北地方で開催された国際会議の中で最大規模となります。海外から多くの方々に参加していただき、宮城に滞在し、復興状況を見ていただくことが風評の払拭や交流人口の拡大などにつながるものとして期待されます。

会議の特徴

- 特徴1 • 国連総会で決議された国連主催の会議です。
- 特徴2 • 国連加盟国(193カ国)、国際機関NGO等が参加します。
- 特徴3 • 今後の世界の防災戦略を策定します。
- 特徴4 • ホスト国日本の防災ノウハウを世界に紹介します。
- 特徴5 • 東日本大震災の経験と教訓を国内外に発信します。

UN World Conference on Disaster Risk Reduction 2015 Sendai Japan

「第3回 国連防災世界会議 関連事業」

防災産業展 in 仙台

伝えよう、未来に教訓と備えを

●会期 2015年 3.15(日)~17(火) 10:00~17:00

●会場 夢メッセ MIYAGI (仙台市宮城野区港3丁目1-7)

入場 無料

主催 内閣府、宮城県、日刊工業新聞社

共催 仙台市、(一社)東北経済連合会、(一財)みやぎ産業交流センター、河北新報社

URL <http://www.nikkan.co.jp/eve/tohoku-bousai/>

県では内閣府等と連携し、津波被害から復旧を果たした「夢メッセみやぎ」を会場に、被災地である宮城だからこそ、災害時における実用性を認識できる製品やエネルギー・情報の途絶といった「震災の教訓」を踏まえた最新技術など、防災関連の技術展示会を開催します。約100の団体が出展を予定しており、入場は無料です。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。

その他のパブリックフォーラム

国連防災会議の期間中は、防災に関するセミナー・フォーラム・展示会などが県内各地で開催される予定です。最新情報は下記のホームページでご確認ください。



<http://www.bosai-sendai.jp/>

【お問い合わせ先】 第3回国連防災世界会議仙台開催実行委員会 ☎ 022-214-8098
 (事務局：仙台市総務局国連防災世界会議準備室) FAX 022-214-8497

明日のみやぎへ！
みやぎ“復興人”

“cafe はまぐり堂”の取り組み



石巻市の牡鹿半島に「蛤浜（はまぐりはま）」という小さな浜があります。震災前は9世帯が生活していましたが、震災により2世帯まで減ってしまいました。この蛤浜に生まれた亀山貴一さんは、これ以上の人口流出を防ぎ、蛤浜の魅力を伝えながら人が集まれる交流拠点「cafe はまぐり堂」を立ち上げました。

カフェは築100年の生家を改装し、地元の食材を使ったメニューや、アンティークの小物などがお客様を迎えます。昨年1年間で、カフェには約1万人の方々が訪れました。今月号は、蛤浜の再生に取り組んでいる亀山さんにお話を伺いました。

●蛤浜の再生に向けた取り組みを教えてください。

蛤浜を含む牡鹿半島は、自然が豊かで、とても魅力がある地域です。その魅力を発信しながら、交流人口を増やしていくためにカフェのほか、キャンプ場やツリーハウスをつくりました。また、地元の漁師の方々と協力し、地元の牡蠣を生産・加工・販売する六次産業化にも取り組んでいます。スタッフの中には、Uターンで地元に戻ってきた方、ボランティアで牡鹿半島に入り、そのまま住みついた方などいます。



●今後の取り組みについて教えてください。

瓦礫だらけの中でスタートした蛤浜再生プロジェクトでしたが、ボランティアなど支えてくれる皆さんのおかげで、ここまで来ることができました。交流人口は増えてきましたが、地域が無理せず継続できること、集落の人々に理解してもらうことが一番大切です。元々の蛤浜の暮らしに溶け込みながら、地域の人々がしっかりと暮らしを継続できるような取り組みをしていきたいと思っています。



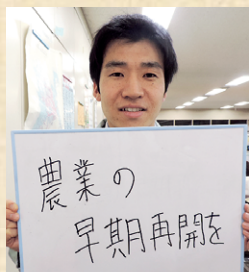
亀山 貴一さん



☎cafe はまぐり堂 <http://hamagurihama.com/cafe/>
☎0225-90-2909 所 石巻市桃浦字蛤浜 18

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

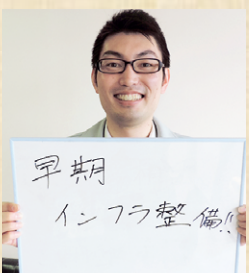
応援職員紹介コーナー Vol.27



氏名 原 健司（ハラ ケンジ）
派遣元 広島県
所属 農村整備課

サッカー・野球などのプロスポーツが盛んな広島県から派遣されています。牡蠣やピオーネなどの食べ物のほか、世界遺産の宮島などが有名です。家族で宮城県に来ており、週末は家族4人でランチ巡りをしております。

宮城県では、農業用施設の災害復旧工事に関する国との協議などを担当しています。県内340ほどの地区を2人で担当しています。先日職場の先輩から、郷土料理の油麩丼とはっと汁を教えてください、自分で作ってみました。農業の早期再開を目指し復興の一助になれるよう、仕事をしてまいります。



氏名 三科 幸司（ミシナ コウジ）
派遣元 山梨県
所属 仙台土木事務所

ぶどう・ももの生産が盛んな山梨県から来ています。山梨におこしの際は、富士山・山中湖を見て、ワインを飲みながら「ほうとう」を食べに来てください。

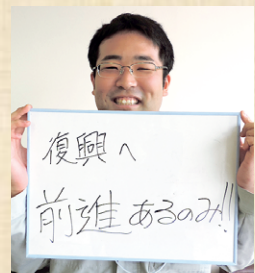
山梨県は、海がない県なので、宮城県の海産物の種類の多さと美味しさにとっても感動しました。派遣先では、岩沼市と松島町の用地取得・補償の業務を担当しています。用地の仕事はすぐに成果が見れませんが、この仕事があるからこそ、復興に向けて前に進むので、復興の一助になっていることは大変嬉しいです。責任も重い仕事ですが、頑張っていきたいと思っています。



氏名 田北 寛奈（タギタ カナナ）
派遣元 大分県
所属 東部地方振興事務所

大分県から水産職として派遣されています。大分県は、日本一の生産量を誇るかぼすのほか、ヒラメの養殖も日本一です。また、日本一の源泉数と湧出量を誇っていることから「おんせん県」としてもPRしています。

宮城県では水産業の施設復旧等の申請・手続き等を担当しています。私自身が担当した施設が実際に活用されているのを見ると、とてもやりがいを感じます。宮城県は、獲れる魚が多く、獲れる量もとても多いことに驚きました。宮城県の魅力をもっと感じながら、残りの任期も邁進していきたいと思います。



氏名 中島 晋弥（ナカシマ シンヤ）
派遣元 福岡県
所属 仙台土木事務所

福岡県は、辛子明太子の生産が日本一のほか、いちごなどが有名です。アジアからの外国人も多く、施設の標識には中国語や韓国語が溢れています。

宮城県では、亶理町などの用地取得・補償の業務を担当しています。昨年度まで、福岡県に派遣されており、引き続き宮城県に来ています。仕事の関係で亶理町に行くことが多かったのですが、郷土料理「はらこめし」はとても感動しました。職場は多くの都県から応援職員がおり、勉強になることが多いです。ここで学んだことを、今後も大事にしていきたいと思います。

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまでアクセス数が100万件を超えました。

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukuuiup@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2014年11月12日 水曜日掲載

挑戦中! たくさんの“実り”が輝く大地へ—(東松島市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/11/blog-post_12.html

「なに、オレたちが拓く前は、ここは塩田だったんだ」。10月20日、津波をかぶった農地の復旧工事が進められている東松島市の野蒜地区で、試験栽培されたソバが収穫されました。塩害を乗り越えて、県と市とJA、そして農家の挑戦です。



2014年11月16日 日曜日掲載

「300回の『ありがとう』を言わせてください!」(南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/11/300.html

「たくさんの人たちからいただいた支援や応援に何か恩返しをしたいね〜」。11月2日、南三陸町歌津にある産直施設「みなさん館」で、縁のある大勢のボランティアを招いた「第2回金比羅丸&小野花匠園&高芳丸芋煮会」が開催されました。



2014年11月19日 水曜日掲載

震災遺児に進学の夢を! みちのく未来基金(仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/11/blog-post_25.html

震災で親を失った子どもたちは全国で約1,700名にも上ります。そうした子どもたちが夢や希望を諦めずに成長し、故郷の復興のために役立ってほしい。「公益財団法人みちのく未来基金」はそうした願いを込めて設立された奨学基金です。



2014年11月25日 火曜日掲載

「まごころ」が触れ合う場所(名取市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/11/blog-post_32.html

ボランティアのための宿泊施設を運営する「NPO法人ボランティアサポートセンターまごころ」。教育プログラムの一環としてボランティアに訪れこの施設を利用した武蔵野大学が、「まごころ」の関係者に対して報告会を行いました。



2014年11月26日 水曜日掲載

山形から地域をあげて、桂島と共に。桂島牡蠣まつり(塩竈市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/11/blog-post_49.html

「ニーズがある限り、継続してボランティアに入る。そんな覚悟で学生たちは被災地に入り、交流は今も続いています」と山形大学教授の福島真司さん。桂島牡蠣まつりにも、思いを引き継いだ学生、そしてOBたちの姿がありました。



2014年12月10日 水曜日掲載

防災と口腔ケアを考える(気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2014/12/blog-post_87.html

被災地では、水不足や食事の栄養バランスの問題から歯周病が増え、多くの人たちが健康を損ないました。医療ボランティアから気仙沼市立本吉病院に転身した一瀬浩隆さんは、災害時の口腔ケアについて啓発活動に取り組んでいます。



災害公営住宅への太陽光発電パネルの設置について

県と市町では、「再生可能なエネルギーを活用したエコタウンの形成」を進めるため、一部の災害公営住宅において屋根を発電事業者に貸し出し、太陽光発電パネルを設置する事業を実施します。これにより、大規模停電などの非常時には、太陽の出ている昼間に、発電設備に付属するコンセントの利用が出来るようになります。

事業の実施にあたり、発電事業者として選定された東北ソーラーパワー株式会社または関連事業者が、パネルなどの設置工事やメンテナンス等で住宅を訪問することがあります。

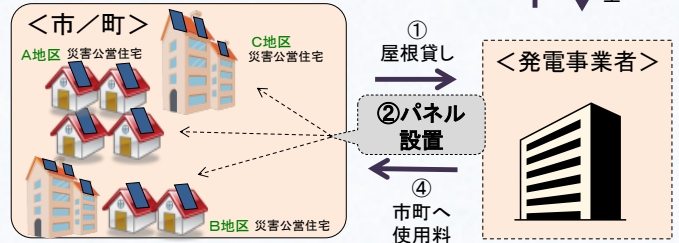
なお、工事については全て屋外となりますので、入居される時期への影響はありません。ご不明な点は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いします。

☎再生可能エネルギー室 ☎022-211-2654

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/saisei/>

【参考】事業スキーム

- ①市/町が災害公営住宅の屋根を発電事業者に貸し出します。
- ②発電事業者は借りた屋根に太陽光パネルを設置し、発電します。
- ③発電した電気は電力会社に売電します。
- ④発電事業者は、市/町に対して使用料を支払います。



復興 イベント情報

凡例 日 日時、期間 所 場所、会場 内 内容等 問 問い合わせ

ゆりあげ港朝市 新春初市 (名取市)

グランドオープンから1年を迎えたゆりあげ港朝市。今年最初の朝市は1月11日に開催します。

日 平成27年1月11日(日)

所 ゆりあげ港朝市

問 ゆりあげ港朝市協同組合 ☎022-395-7211

マリンパル女川おさかな市場たら祭り (女川町)

水揚げされたばかりの新鮮な「たら」を格安でご提供。当日は、市場特製荒汁の振る舞いもお楽しみください。

日 平成27年1月10日(土)~11日(日)

両日 10:00~15:00

所 マリンパル女川おさかな市場

問 マリンパル女川事業協同組合 ☎0225-54-4714

あそぶさございん! セツ浜deお正月 (セツ浜町)

毎年恒例のお正月イベント。餅つき、書初め、お茶席、福笑い、お手玉、羽根つきなどの昔懐かしい日本の遊びを体験できます。駄菓子屋さんの「とすけ」(くじ引き)もあります。

日 平成27年1月25日(日) 12:00~14:00

所 セツ浜国際村

問 セツ浜国際交流協会事務局 ☎022-357-5931

寒鱈まつり福興市 (南三陸町)

当日はメインテーマである寒鱈を使ったメニューや地元名産の海産物や農産品を中心とした物産テント、飲食ブースのほか、全国各地からの応援ブースもところ狭しと立ち並び、町の復興を目指して元気に市場を開催します。

ステージでは多彩なイベントも行われます。

日 平成27年1月25日(日) 9:30~14:30

所 さんさん商店街特設会場

問 南三陸福興市実行委員会事務局 ☎090-7077-2550

松島かき祭り (松島町)

宮城の冬の味覚の代表「カキ」を堪能できるお祭りが、松島町で開催されます。かき鍋などを無料で味わえるほか、「有料炉端コーナー」もあり、お腹も心も松島を満喫できます。

日 平成27年2月1日(日) 9:00~14:00

所 JR仙石線松島海岸駅前グリーン広場

問 松島観光協会 ☎022-354-2618

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

編集後記

平成27年1月17日、阪神・淡路大震災の発生から20年を迎えます。あらためて、震災で犠牲になられた方々にご冥福をお祈りいたします。

さて、12月6日には、常磐自動車道のうち、未開通の相馬一山元ICと浪江-南相馬IC間が開通されたほか、亘理町には鳥の海PAエリアが開設され、兵庫県の支援団体が桜の苗を植樹しました。遠く兵庫県から宮城の復興にご支援・ご協力いただいていることに、心から感謝申し上げます。(佐)

山元町新坂本駅周辺



平成25年11月8日撮影



平成26年11月11日撮影

みやぎ復興プレス 第32号

【発行日】平成27年1月1日

【発行】宮城県震災復興本部 (事務局: 震災復興推進課)

電話: 022-211-2408 e-mail: fukusuif2@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusuif/>

「震災・復興」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

